

市立武蔵野会館

あいスポットプレス

第30号

発行元 市立武蔵野会館運営協議会

責任者 会長 座間康臣

事務局 昭島市市民部生活コミュニティ課 042-544-5111

CONTENTS

P1. 会長挨拶、活動日誌

P3. 武蔵野会館まつり

P2. 防災講演会

P4. 委員会報告

「新年度を迎えるにあたり」

市立武蔵野会館運営協議会 会長 座間 康臣

今年も早いもので年度末をむかえ、まもなく平成27年度が始まろうとしています。

平成26年度は、今年11月3日に市立武蔵野会館運営協議会が10周年の節目を迎える前年であることから、設立時の基本に立ち返り活動に反省と、前進の基盤をつくる活動をと進めてまいりました。特に防災活動につきましては、自治連第15ブロックと一緒に3年間継続して実施してきましたが、昨年初めて瑞雲中学校と連携した、避難訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練を行なったことは大きな前進でした。昭島では津波や土砂崩れの災害は想定されないものの、地震や火事の災害は常に意識し、防災・減災に備える必要があります。

新年度も防災につきましては、自助、特に共助につかまえて防災隣組等地域コミュニティの大きな課題として取り組みたいと思います。また協議会設立時から活動してきました「安全まちづくり」、「美しいまちづくり」、「心と体の健康づくり」

の各活動も委員会活動を活性化するとともに、広報誌である「あいスポットプレス」の活用も一層注力してまいります。



11月3日は例年「会館まつり」ですが、今年は10周年記念行事として位置付けるほか、記念誌の発行も行なう予定です。

新年度が節目の年として相応しい活動となりますよう皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

武蔵野会館運営協議会活動日誌

- 10月14日 青パト運転者講習会
- 17日 瑞雲中・まちづくり昭島北・15ブロック・運営協議会防災訓練合同会議
- 18日 第2回地域合同防災訓練実行委員会
- 19日 自治連第15ブロック運動会
- 24日 市立武蔵野小学校愛校の日
- 29日 武蔵野会館まつり実行委員会
- 30日 地域内同防災訓練
- 11月 1日 昭島市60周年記念式典
- 3日 第9回武蔵野会館まつり
- 11日 武蔵野小児童と武蔵野通り花の植え付け
- 12日 定例役員会
- 16日 自治連第15ブロック地域合同防災訓練反省会
- 12月 3日 防災会議事務局会議（防災マニュアル検討）
- 10日 定例役員会・会館まつり反省会
- 18日 防災マニュアル検討会
- 青パト運転協力者連絡会
- 23日 中神北口商店会餅つき
- 25日 ピーポ君の家連絡会議
- 1月12日 つつじが丘南団地餅つき
- 14日 定例役員会
- 24日 市立武蔵野小学校40周年記念式典
- 2月12日 定例役員会
- 22日 自治連主催自治会懇談会

自治連第15ブロック地域合同防災講演会

「学校の防災活動と避難所運営」～いざという時の心構えと訓練～

11月3日、自治連第15ブロック地域合同防災事業第3部として防災講演会を開催しました。

講師は、武蔵野小学校の五十嵐校長先生にお願いし、演題は「学校の防災活動と避難所運営」で、76名の方が参加されました。

内容は、武蔵野小学校における防災活動として、533人の子供の命をまもるための、学校防災計画、予防管理対策、自衛消防活動、教職員の防災教育・訓練や、避難訓練を実施していることなど丁寧な説明がありました。

また、昭島市避難所運営マニュアルの説明もあり、いろいろな課題についても提起されました。

参加者からのアンケートでは、・学校の防災活動が良くわかった ・学校と自治会と住民の日常の付き合いが大切と感じた ・中身が濃くてよかった ・もっと時間が欲しかった ・小学校の避難所としての重要性を知った などたくさんの貴重なご意見をいただき、来年度への期待を感じることができました。

子供たちの合い言葉

おさない かけない しゃべらない もどらない
のやくそく「お・か・し・も」



なお、避難所運営マニュアルについては、より実際に即した内容とするため、昭島市自治会連合会が関係団体・部署と連携して平成27年度に「学校別避難所運営マニュアル」作成と「学校別避難所運営委員会」設置を目指して活動することになっています。



●写真で見る会館まつり●

11月3日(祝)、恒例の武蔵野会館まつりを開催しました。今年は、9回目を迎え、各種アトラクション、展示、模擬店、お茶席など大盛況でした。

来年度は、第10回を迎えます。ますますの発展を期待します。



安全まちづくり委員会の活動

青パト運転者と昭島警察・昭島市担当者との運転者連絡会を開催しました

平成26年12月18日（木曜日）に青パト運転協力者と昭島警察生活安全課村野課長代理並びに昭島市生活コミュニティ課暮らしの安全係細田係長・小森氏をお迎えして、青パト運転者連絡会を開催しました。この連絡会も今年で6回目となります。

連絡会では、村野課長代理から市内の刑法犯罪の発生状況として市立武蔵野会館の所在する地域では4件の振り込め詐欺が発生し、市内全域では25件の発生で、被害額は5000万円となり、昨年14件と比べると件数で11件、被害額は昨年2968万円と比べて2000万円を超える増となっていると報告されました。一方、銀行との連携で事前防止したのが25件、9000万円あったそうですから、十分に気を付けたいものです。防止する最善の方法は、必ず確認の電話をすることを勧められました。

特に、振り込め詐欺の最近の事例は、「電車内にお金を入れたまま鞆を忘れた。」「妊娠させた。中絶の費用が必要だ」などという<劇場型>と呼ばれる手口が増えているそうです。現金の受け渡しも、「振り込み方式」から「手渡し方式」に変化し、自宅から他の場所に誘導されたり、宅配で現金を送らせる（違法です）方法もあるそうです。

又、自動車盗も8件発生し、全てが車種は“ハイエース”となっており、注意を促されました。タイヤを盗まれるケースも多発しているそうです。

いずれにしても、刑法犯罪そのものは減少傾向にあり、地域活動の一環としての「青パトの巡回活動が犯罪抑止効果に繋がっている。」と感謝の言葉がありました。

又、生活コミュニティ課の細田係長・小森氏からは、青パトの運行手順マニュアルで運行の注意点や防犯活動や交通安全への周知など地域を対象

とした肌理の細かい取り組みに感謝の言葉がありました。

青パト運行の注意点の中で、運転手の常識として誰もが知っておいていただきたいこととして、とても大切なお話がありましたので、皆さんに紹介いたします。それは万一事故を起こした場合は、決して事故車両から離れないということです。離れてしまうと「ひき逃げ事故」として警察では取り扱うことになるそうです。「ひき逃げ」というと、事故現場から車両で逃走することと思いがちですが、運転手が事故車両から離れても、「ひき逃げ」として処罰されることとなりますので注意しましょう。

まとめに、青パトの運行は「まちづくり昭島北」協議会の皆さんも一緒に参加され、地域の防犯・交通安全に日々務めております。今後も青パトの運行を通して、初心を忘れずに、地域の安全・安心なまちづくりを目指して活動の継続を申し合わせました。

なお、青パト運転協力者を常時募集しておりますので、ご協力していただける方は、会館事務室（042-500-4320）までご連絡ください。

青パト運転者講習会に参加しました

平成26年10月14日10時から、昭島市役所で青パト運転者講習会が開催され、武蔵野会館運営協議会から7名が参加しました。

武蔵野会館運営協議会では、平成20年9月から運行を開始し、地域の安全に貢献していますが、今後は2年に一度、講習会を受講し、より安全な運行を心掛けます。

